

多文化共生・異文化間教育

研究領域

明治大学 国際日本学研究科

何を？

多様な人々が共に生きる社会のための
政策、教育、メディア、まちづくりについて

なぜ？

- ・ グローバル化の進展の中で、外国からの労働者や留学生など、多様な文化背景を有する人々が増加
- ・ 地域社会や学校、大学あるいは企業における多様性（ジェンダー、障がい等）の重視

例え
ば？

研究
の
問
い

- ・ 外国人労働者や外国人留学生に関わる課題
- ・ 国や自治体の外国人政策のあり方
- ・ 多文化共生をめざす教育の実践とは
- ・ 生活背景の違いなどの多様性（障害や世代、ジェンダー）
- ・ 地域における多様な主体の協働のあり方
- ・ 多様性から知を生み出す学習環境デザイン/テクノロジー活用
- ・ 異文化体験が人間の成長・発達にどのように影響するか

多様性をめぐる様々な課題の中から、学生は特定のテーマを設定して研究を進めます。

コンセプト

講義科目

指導可能領域

アドバイス

2025年度 講義一覧

異文化間教育学
特論

多文化共生特論

多文化共修

アクション
リサーチ

発達心理学

多文化共生と
地域社会

ダイバーシティ
と企業

コンセプト

講義科目

指導可能領域

アドバイス

2025年度 指導教員



岸磨貴子



平井達也



岸磨貴子

教授。情報学（博士）。ICTを活用して、人々の多様性（才能）が発揮できる学習環境（場）のデザインに関する研究をしている。（「場のデザイン×ICTで、誰もが輝ける世界に」を検索！）文部科学省のICT活用アドバイザー、異文化間教育学会/日本教育メディア学会/日本教育工学協議会の理事を兼任。

教育工学・学習環境デザイン

指導可能領域は次のとおりです。

- ① 異文化間教育、共生のための教育
- ② 教育工学、教育メディア研究
- ③ ワークショップ/学習環境デザイン
- ④ アートベース・リサーチ
- ⑤ 国際教育協力





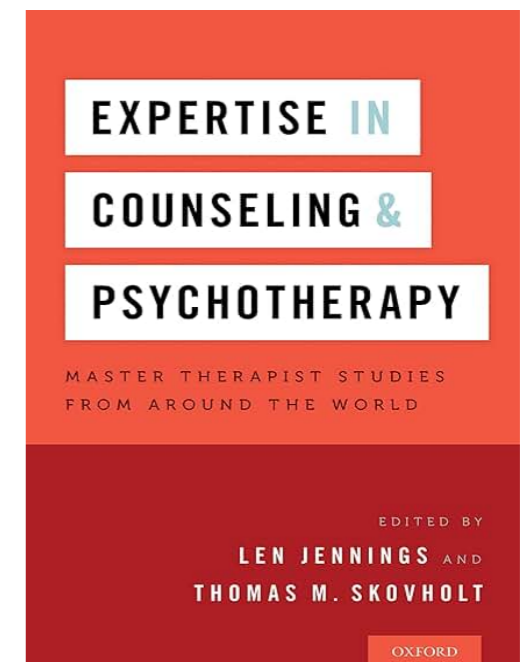
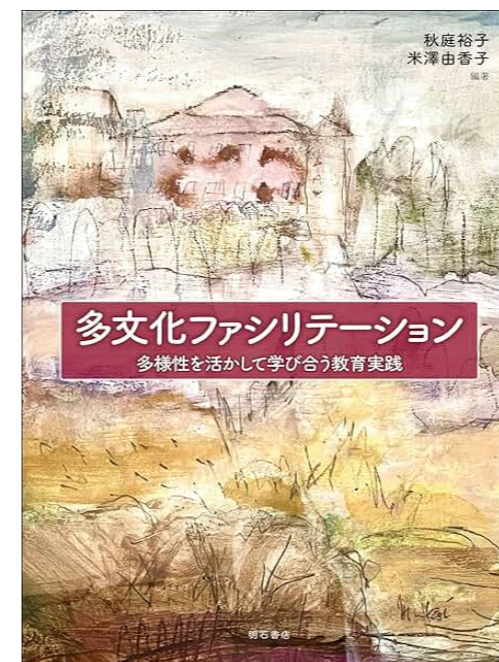
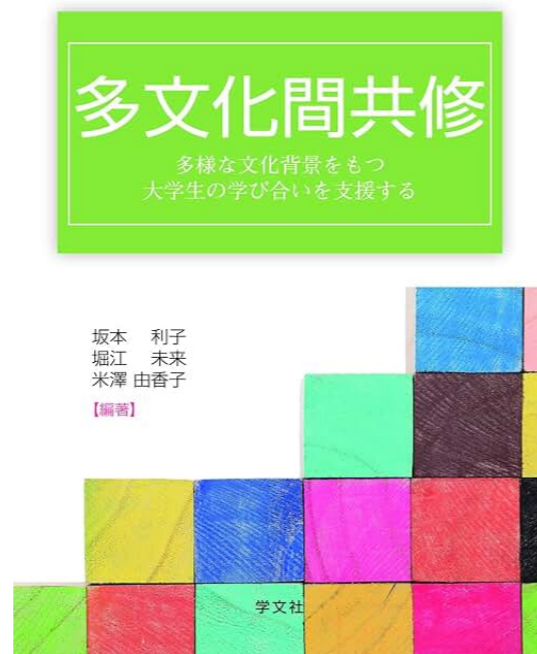
平井達也

准教授、Ph.D. (カウンセリング心理学)。その人らしい生き方の実現を異文化間教育や心理学の視点から研究・実践。具体的なテーマとしては、多文化共修を通じた多様性理解、多文化グループにおけるファシリテーション、キャリアカウンセリングとポジティブ心理学を活用した幸せな生き方の創造、自分らしいリーダーシップの開発等。

異文化間教育・カウンセリング心理学

指導可能領域は次のとおりです。

- ① 多文化共修
- ② ファシリテーション
- ③ ワークショップデザイン
- ④ キャリア教育
- ⑤ リーダーシップ教育
- ⑥ ポジティブ心理学





受験生への アドバイスと注意点

- ・しっかりとした問題意識を持ち、2年間で論文に仕上げることができるように、その問題意識をできるだけ具体的な研究計画にして、応募してください。
- ・指導希望教員の書いた著書や論文などを、よく読んでください。
- ・本研究科で研究を進めるために、その基礎となる文献として、異文化間教育事典（異文化間教育学会 編著/明石出版）を推奨しています。

